

# Sports Net

## ちば 2023年6月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2023年6月1日

「スポーツは平和とともに」  
新日本スポーツ連盟千葉県連盟  
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17  
Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454  
URL <http://njsf-chiba.perma.jp>  
E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)  
発行人 園川 峰紀  
通巻 250号

やはり強かった

JREASTランナーズA 4連覇の偉業達成

～～大会記録2時間4分54秒を達成！！～～

## 第21回千葉・青葉の森リレーマラソン

五月晴れの下、5月21日（日）千葉県立青葉の森公園特設会場で「第21回青葉の森リレーマラソン」が県内外から138チーム・約1200名、役員・ボランティア 約70名、総勢1300名余が集い開催されました。

この3年あまりはコロナ禍の中、中止になったり、開催しても参加チームも二桁どまりで推移していましたが、今回は一気に伸びて140チームを超える申し込みを受けました。

申し込み終了後、ほぼ毎日と言っていいほど受けるメンバー変更に事務局担当者は夜遅くまで対応を強いられましたが、大会当日のランナーの皆さんの笑顔に主催者としてはそれまでの苦労が報われる思いを強くしました。

午前7時役員・ボランティア集合。前日準備していたテントを組み上げ本部設営。

選手も三々五々会場に自チームの陣取りを始める。7時半受付開始。どの選手の顔もマスク着用は少なく、笑顔が満ち溢れる何時もの会場が出現。



ほどなく全チームのエントリーが終了。開会式終了後の午前9時半、スタート地点・おはなみ広場前から小高審判長の号砲一発、138チームの第1走者が42.195km先のフィニッシュを目指して一斉にスタート。

例年になく集まったランナーで走路は人、人。日常の姿が戻ってきた感を強くしました。

さて、レース展開はここ数年頭一つ抜きんでている「JR・EASTランナーズA（以下「JR・EAST」）と同チームとデッドヒートを繰り広げている「千葉韋駄天アスリート風神（以下「風神」）との一騎打ちが予想されましたが、案に相違し最後までJR・EASTの韋駄天走りが周囲を圧倒。一度も1位の座を譲らず終始首位をキープしてフィニッシュ。何と大会記録の2時間4分台の記録をたたき出し、見事2019年以来4連覇の偉業達成。



フィニッシュ後のインタビューでも「この大会を目標にトレーニングを重ねてきました。大会記録更新は仲間を信頼して走った結果です。」と強いチームにありがちな傲慢さはなく謙虚な姿勢には脱帽。

一方、またしてもJR・EASTの後塵を拝した風神のキャプテン「今回もJR・EASTには及びませんでしたが決しててっぺんを取るのをあきらめたわけではありません。来年はもっ

と練習を重ねてっぺんを取りたい」正にチャレンジャー精神溢れる言葉に来年を期待したいですね。

さて、本大会名物のレース中のインタビュー。今年も色々な方々から声を聞けました。

その中でも毎回真っ赤なコスプレ仮装で出場するザ・ウォーターズRED (No.61) 中村大介選手。何故その仮装で出場するかとの問



いに「印旛沼浄化をアピールする為」。その熱意に感動。これからも

印旛沼を綺麗にする活動に精進あれ。

また裏社会を思わせる名前のチーム「南船一派A組/B組」は、

在日中国人のグループで構成されているフルマラソンからビギナー



ランナーまで幅広く活動しており初心者大歓迎との事。この大会も国際的になったようですね。

## インタビュー点描

その他にもいくつかインタビューを重ねましたが異口同音に「楽しい、最高です」を連発。やはりランニングは全てのスポーツのキホンであると同時に、平和でなければできない、との思いを強くしました。



## レース#137 MTKマラソン部(左下)

何時もはサッカーボールを蹴っているが、サッカーで鍛えた健脚がマラソンでどこまで通じるか試してみたく出場を決めたとの事果たして結果はいかに!?

## レース#128 虎ノ門の愉快的仲間たち#129 ちばの愉快的仲間たち



白地に赤のチーバ君の市松模様が鮮やかなTシャツが目立つグループ。

居住地は虎

ノ門と思いきや千葉都民の方々でした。結果は虎ノ門は92位、千葉は112位とほぼ同じくらいでした。。。

## レース#66 ちはら台走友会

本大会には常に出場頂いている常連さん。「メンバーの高齢化もあって以前よりタイムは落ちたが



楽しんで参加している、来年も来ますよ！」結果はなんと並み居るチームを振り切って60位にランクイン！ベテランおそるべし！

## レース#114 佐倉高校OB

名の通り佐倉高校のOB。高校時代も陸上部に所属し卒業してからもランニングを続けているアスリートぞろい！過去



にも参加しているそうです。結果は実力発揮、75位と全体の間あたりでフィニッシュ！これからも健康に留意してランニングを続けます！力強いメッセージを頂きました。来年また会えることを楽しみにしています。

# 全国大会出場権を掛けて!!

## ~~第32回ミックスバレーボール春季大会~~

ゴールデンウィークの真ただ中の5月5日（金・祝）印西市・松山下公園体育館（メインアリーナ）を舞台に今年12月9・10日、浜松市・浜松アリーナで開催される第18回全国大会への出場権をかけて6チーム（BURST/REVERSIBLE/MADMAN/ROUGE/八街排球クラブ（以下「八街」）/ SPLASH）が競いました。

募集開始時点では順調に滑り出したものの、出場チームのレベルの高さもあってか、はたまた全国大会予選会との響きに何故か出場を躊躇するチームも多く、結局募集締切ギリギリで参加頂いたSPLASHを加え上記の6チームの参加で開催にこぎつけました。

午前中は3チームずつに分かれリーグ戦を、午後はトーナメント戦・順位決定戦を実施。

AグループにはBURST・ROUGE・八街、BグループにはMADMAN・SPLASH・REVERSIBLEがそれぞれ熱戦を展開。

特にAグループは選手から「死のグループ」との声が聞かれました。いずれのチームも全国大会出場経験を持つチームばかり、その証拠に全ての試合がフルセットに持ち込む展開が続きました。

圧巻はBURST vs 八街。

シーソーゲームが続き1セット目25対21でBURST、2セット目23対25で八街、3セット目15対13でBURST。まさに手に汗を握る試合展開。

BURSTはこの後のROUGE戦でもフルセットに持ち込み1位通過。

一方、BグループはMADMANが危なげない試合展開で1位通過。

午後のトーナメント戦は1位通過の2チームと2位通過のREVERSIBLEと八街が決勝トーナメントへ、3位通過のROUGE、SPLASHの2チームは5位6位順位決定戦へと駒を進めました。ここでもBURSTはREVERSIBLEとの準決勝もフルセットで決勝戦に、MADMANは疲れが目立つ八街を2対0で下し決勝戦でBURSTと雌雄を決することにな

りましたが、ここまで全てフルセットで闘ってきたBURSTの体調を考え急遽2セントマッチ、21点先取として行うこととしました。結果は、若さに勝るMADMANが2対0、2セットとも21対15というスコアで2023新春大会に続き連覇となりました。

結果はつぎのとおり

優勝 MADMAN 準優勝 BURST 3位 八街 4位 REVERSIBLE

5位 SPLASH 6位 ROUGE

全国大会への出場枠4枠という事から上位4チームが出場権を勝ち取ることとなりました。

優勝した MADMAN

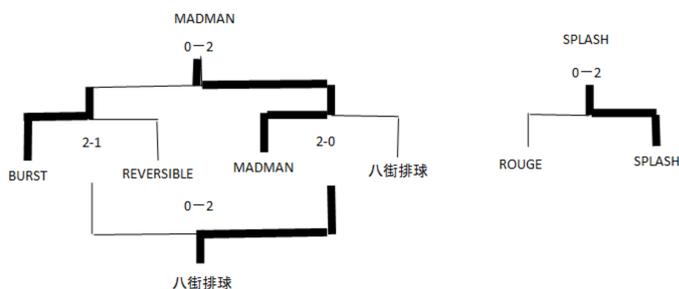


準優勝の BURST



決勝トーナメント戦／3位、4位順位決定戦

5位・6位順位決定戦



## 人物探訪 (No.1)

# 本田 満

千葉県連盟副理事長

今号から新たに始まった企画です。新スポ連に関わる全ての方が取材対象となります。

取材内容は「新スポ連に関わるきっかけは?」「新スポ連に期待することは?」「これからの新スポ連との関わり方は?」など千変万化!

第1回目は、県連盟副理事長の本田満(ほんだみつる)さんとなりました。

まずは、県連盟役員の紹介も兼ねて掲載していく予定ですが、次は「あなたの番かもしれません!」

県連盟の副理事長という肩書を持つ同氏。



中級指導員合格に  
ガッツポーズ!

趣味のスキーでは、千葉県スキー協議会に所属し(因みに所属クラブは「素好人」)中級

指導員の資格をフルに生かし、シーズンが始まる毎年秋口の11月中旬から翌年の春先(GW頃迄?)までの週末はほぼスキー三昧。

同氏の予定表を拝見しますと、なるほど週末はゲレンデのように真っ白??いえ、いえ!予定で真っ黒でした!!

~新スポ連との繋がり原点は水泳にあり~

いつ頃からスキーにのめりこむ様になったのか、との問いに同氏は「中学時代は学校のプールで水泳部、プールが閉まったらバレーボールをしていました。高校に入りバレーボール部へ。当時、屋外のコートで砂まみれになって練習。夏の合宿に行き限界を感じ、同時に身体の左右が均衡になるスポーツをと思い水泳部に入り、

高校時代はそこそこ良い成績を残しました。当時『新体連』は学校体育同志会の先生方とドル平を研究中。茅野先生という体育教師が高校において(水泳部顧問ではない)臨海学校で実践、その魅力に取り憑かれ、高校3年間、大学4年間、就職して1年、連続8年臨海学校に参加しました。

臨海学校の思い出は尽きませんが、ここで私の人格形成がされたことは間違いなくと思っています。

その後

にたまたま出会ったのがスキー。こんなに楽しいものがあつたのかと感じました。それ以来40年近く続けますね。」

同氏を語る場合、玄人はだしの趣味であるカメラを外すことはできません。その成果は、毎年開催している「千葉県スポーツ祭典」の宣伝チラシ、県連盟機関紙「Sports Netちば」等掲載されている躍動感あふれるショットに見事に表現されています。



還暦を過ぎ今年めでたく40数年間努めてきた民医連での業務も定年を迎え、今は再雇用として仕事は続けていますが、スキーと趣味のカメラは生涯続けていきたいとのこと。

連盟主催の大会にお邪魔して皆さんの雄姿が切り取られるかもしれません。その時は最高の笑顔で応えて下さいね!とのメッセージを頂きました。

(園川 記)

## 常任理事会 報告

5月19日(金)今年度第1回目となる常任理事会を開催しました。

4月は総会開催(4月15日)から時間が経っていなかったため、開催を見送り、4役員会議としました。(既報)

### 経過報告関係

- ・第51回定期総会の課題と内容の検証  
定期総会で出された意見や質問についての連盟としての対応方向。運営も含め、定期総会の内容がどうだったのかについて、意見を出し合いました。
- ・リレーマラソンの進捗状況について  
参加チームの人たち4人が事前準備の手伝いに来てくれることになった。
- ・4月22日卓球協議会総会開催  
ホームページをもう少し見やすく、大会申込みなどにも使えるようにすべきではないか。
- ・4月29日(土) 全国理事会

6月24日(土)プロGRESS開催  
ボッチャの講習会

新しいリーフレットを作成

- ・4月24日(月)ランニングクラブ総会
- ・5月3日(水・祝)ペアマッチ卓球大会開催  
(柏市中央体育館—206名参加)
- ・5月5日(金・祝)MIXバレーボール松山下大会  
6チーム参加

### 協議関係

- ・今期の会議日程の確認
- ・リレーマラソン準備状況の確認
- ・SportsNetちば6月号の編集内容の確認
- ・八街市役所からマラソン大会チラシ配布の依頼  
(リレーマラソンで配布)
- ・新日本スポーツ連盟見舞金制度の改定について  
加入単位を「1事業」あたりから「1日」あたりに変更
- ・SportsNetちばの編集方針について  
クラブ紹介を無くすことはせず、新たな企画「人物探訪」と並行して掲載する

## スポーツアラカルト

### 砲丸≒弾丸 名前変える !??!

5月21日に行われた「青葉の森リレーマラソン」に運営の一員として参加しました。

選手の皆さんの姿を見て「自分の力を最大限に発揮して」「仲間の応援に励まされて」走る素晴らしさを感じた次第です。さまざまなスポーツ競技がある中で、シューズなど道具の技術革新も一面ではあると思いますが、道具や用具を使わないシンプルな競技の凄さを改めて実感することができました。

そこでいろいろな陸上競技の種目が頭に浮かんできました。そして違和感を覚える言葉にあたりました。

名前を変えたいと思う種目があります。「より速く、より高く、より遠くへ」という陸上競技の中で、投てき種目は円盤投げ、やり投げ、ハンマー投げ、

そして砲丸投があります。

そうです、砲丸投です。

広辞苑で砲丸という言葉を引きいてみると「①大砲のたま。砲弾。 ②陸上競技の砲丸投に用いる金属球。重量は男子用7.257キログラム以上、女子用は4キログラム以上。」とありました。

私たちスポーツ連盟が掲げている「スポーツは平和とともに」の精神から考えると、ぜひとも名前を変えたいと思うのです。

では何がいいか。なかなか思い浮かびません。一緒に考えてみませんか。そして日本や世界の陸連に提案して、それが実現したらうれしいですね。

千葉県連盟副理事長 本田 満



# SPORTS CALENDAR

## 6月

6月 3日 (土) 全国選抜軟式野球大会 (静岡・草薙)  
6月 4日 (日) 全国選抜軟式野球大会 (静岡・草薙)  
野球協リーグ戦  
6月25日 (日) テニス混合3ペア チーム対抗 (高浜)  
野球協リーグ戦  
6月27日 (火) ウォーキング (館山) 神奈川と合同  
6月28日 (水) 卓球団体戦オープン (花島公園体育館)

6月11日 (日) 全国スキー協総会  
6月17日 (土) スキー協役員会  
6月23日 (金) 県連盟理事会 (穴川CC)  
6月24日 (土) 全国連盟プロGRESS  
6月26日 (月) 卓球協議会役員会 (準備)

## 7月

7月15・16日 (土・日) 卓球全国大会予選  
(一般・女子年代別)  
7月17日 (月・祝) テニス混合D 関東ブロック予選  
(稲毛海浜)  
7月22日 (土) テニス女子D (稲毛海浜)  
7月23日 (日) テニス男子S (高浜)  
7月29日 (土) テニス男子D 全国大会予選 (稲毛海浜)

7月15日 (土) 全国卓球協議会理事会 (zoom)

## なかなかなくならない スポーツ界の暴力

今から10年前、大阪市のバスケットボール部の高校生が顧問の教師からの暴力行為で自殺した事件等をきっかけに、日本スポーツ協会 (JSP0) では「暴力行為根絶宣言」を発出し、同協会HPにも同宣言がトップページに掲載されています。

しかしながら、長野の高校での部活動顧問教師による生徒の前髪を切ったという報道や、大相撲での若手力士が兄弟子から日常的に暴行を受けていたという報道、更にはJSP0の窓口に寄せられた相談内容を見ると、以前は暴力が3割で暴言は2割を占めていたが、昨年度 (2022年度) は暴力が1割強で暴言が3割に増えたことから、社会的に暴力指導がダメになったので「言葉の暴力」で追いつめている傾向が窺えるとの報道を聞くにつけ、なかなかなくならない日本のスポーツ界の闇の部分垣間見た思いがしました。

更に驚くことに、先のJSP0相談の被害者の多くを小学生が占めており「バカ、アホ、ボケ」「おまえなんかいらぬ」等の心無い言葉で心に深い傷を負い、自殺に至った例もあると言います。

子供時代は楽しく、色々な種目に取り組み、

大人になったら最大の力を発揮できる長期的な視野に立った指導が求められると関係者は強調しています。

5年前には、暴力指導やハラスメントに対してアメフット (日大アメフット部反則タックル問題にみられる指導者の在り方)、レスリング (女子レスリング：伊調 馨選手へのコーチによるパワハラ問題) など選手側から告発する動きも増えてきました。

またスポーツ団体としては、日本バレーボール協会がこの3月から暴力撤廃アクションを掲げ、暴力に至らない暴言やしごきも見直しを始めています。同協会では益子直美さんが主宰している「監督が怒ってはいけない大会」等のアイディアや、大会形式をトーナメントではなくリーグ戦を、講習会、研修会、指導者養成等を精力的に進めていく等の対策を進めています。

柔道界では「行き過ぎた勝利至上主義が散見される」という理由から昨年小学校全国大会を廃止したのもその流れの一環と言えます。

ドイツでは地域で活動しているスポーツクラブは「民主主義の学校」と言われています。

日本のスポーツ界でもそのような形が当たり前と言われる時代が一日でも早く来ることを願うばかりです。



理事長の抱負